

平成25事業年度

決算報告書

自：平成25年4月 1日

至：平成26年3月31日

国立大学法人神戸大学

## 平成25年度 決算報告書

国立大学法人神戸大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	19,948	21,789	1,841	(注1)
施設整備費補助金	4,921	3,678	△ 1,243	(注2)
補助金等収入	1,252	2,922	1,671	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	78	78	-	
自己収入	37,689	37,723	36	
授業料、入学料及び検定料収入	9,571	9,455	△ 115	(注4)
附属病院収入	27,725	27,680	△ 44	
財産処分収入	-	103	103	(注5)
雑収入	393	485	91	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	6,117	7,991	1,874	(注6)
引当金取崩	-	303	303	(注7)
長期借入金収入	8,990	8,738	△ 252	(注8)
貸付回収金	7	3	△ 4	
目的積立金取崩	442	668	225	(注9)
計	79,444	83,895	4,451	
支出				
業務費	56,216	55,278	△ 938	
教育研究経費	28,424	27,718	△ 706	(注10)
診療経費	27,792	27,560	△ 232	(注11)
施設整備費	13,990	12,494	△ 1,495	(注12)
補助金等	1,252	2,922	1,671	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	6,119	6,147	27	
貸付金	5	2	△ 3	
長期借入金償還金	1,862	1,819	△ 43	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	-	46	46	(注14)
計	79,444	78,710	△ 735	
収入-支出	-	5,185	5,185	

※項目ごとに四捨五入を行なっているため、計及び差額が合致しない場合があります。

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、主として復興関連事業の追加配分などにより、予算額に比して決算額が1,841百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、主として翌事業年度への事業の一部繰越が発生したため、予算額に比して決算額が1,243百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、主として補助金の新規採択等に伴い、予算額に比して決算額が1,671百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、授業料及び検定料の収納額が見込額を下回ったことにより、予算額に比して決算額が115百万円少額となっています。
- (注5) 財産処分収入については、国より出資された土地の売却により、予算額に比して決算額が103百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、外部資金の獲得に努めたことに加え、前年度繰越額のうち当期に使用した額1,839百万円を含めて計上していることから、予算額に比して決算額が1,874百万円多額となっています。
- (注7) 引当金取崩については、賞与引当金266百万円及び退職給付引当金38百万円取り崩したことにより、303百万円多額となっています。
- (注8) 長期借入金収入については、主として翌事業年度への事業の一部繰越が発生したため、予算額に比して決算額が252百万円少額となっています。
- (注9) 目的積立金取崩については、主として土地の購入に充てるため等の目的積立金の取崩を行なったため、予算額に比して決算額が225百万円多額となっています。
- (注10) 教育研究経費については、主として、(注1)で示した理由及び経費の節減、並びに業務達成基準の適用による事業の繰越等に伴い、予算額に比して決算額が706百万円少額となっています。
- (注11) 診療経費については、主として業務達成基準の適用による事業の繰越を行なったため、結果として、予算額に比して決算額が232百万円少額となっています。
- (注12) 施設整備費については、主として(注2)及び(注8)に示した理由により、予算額に比して決算額が1,495百万円少額となっています。
- (注13) 補助金等については、主として(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が1,671百万円多額となっています。
- (注14) 国立大学財務・経営センター施設費納付金については、主として(注5)に示した理由により、予算額に比して決算額が46百万円多額となっています。